

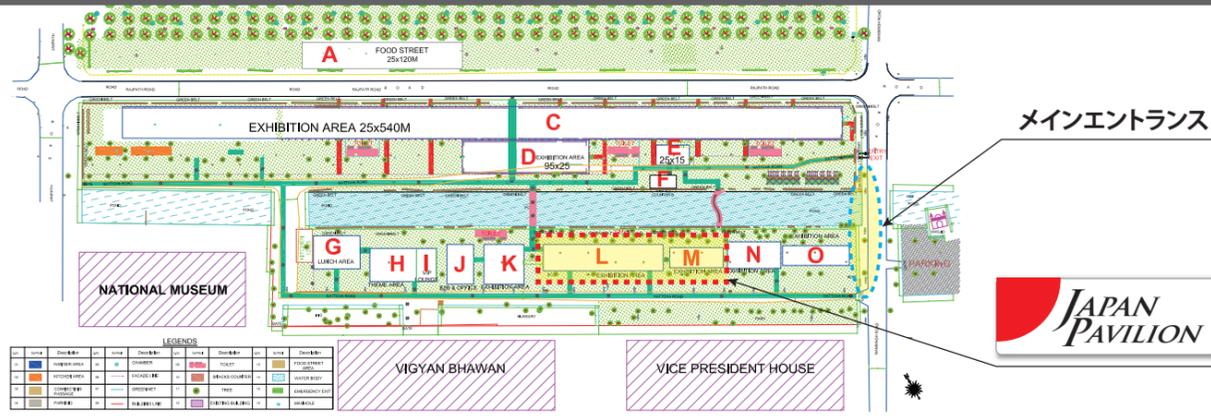
出展費用及び小間の種類



出展小間費用
180 USD/㎡ (Min.9㎡)

※ インド消費税18%及び使用する電力料金が別途必要となります。

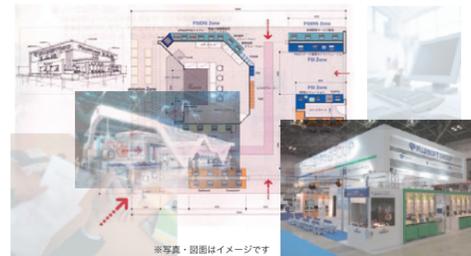
会場平面図



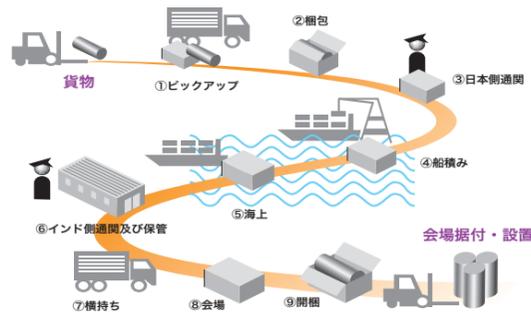
運営管理内容

装飾・制作物・輸送

- 装飾業務
設計・施工・デザイン/レイアウト・企画運営進行管理・現場監督など
- その他の関連業務
 - 制作物業務
パンフレット・フライヤー・製品カタログ/パネルデザイン/運営進行管理
 - 映像業務
VJ・ビデオ製作・ナレーション/吹き替え・レイアウト企画運営進行管理
 - 運営関連業務
セミナー・ノベルティ・コンパニオン・通訳・ナレーター・レセプションアレンジ



- 日本からの一括輸送を致しますので、別途お見積りさせていただきます。
輸出通関申告費用/税関検査関係費用/税関出張費用/検査立会費用
船積み諸経費/保税上屋入出庫費/保税上屋運送費
コンテナ積み込み費/コンテナ維持費/海上運賃/船積書類
及び通関書類/輸入地費用/維持費/貨物上屋入出庫費
コンテナ引取費/会場内運搬費/開梱費用/据付補助費
空箱コンテナヤード運送費/その他現場運営管理費



*復路は逆の手続き経路となります。抜打開梱になった場合、別途実費をご請求させていただきます。
*展示会主催者の規定によりオフィシャルフォワードが指定されております。

JiIPA NPO法人 日印国際産業振興協会
Japan India Industry Promotion Association (JIIPA)

TEL: 03-5733-5068

FAX: 03-5733-5047 担当者: プラシャント/能登

E-mail: info@npo-jiipa.org

〒105-0004 港区新橋 6-9-2 新橋第一ビル本館 2F D号

www.npo-jiipa.org

紙面も画面も場面も
Nissiyoku 日本食糧新聞社 75th Anniversary

展示会運営事務局

TEL: 03-3523-2755

FAX: 03-3523-0209 事務局長: 中津川 栄之助

E-mail: nakatsu@neo-cd.com

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 3-22-11
八重洲第3長岡ビル9階 (株) エヌイーオー企画内

www.nissiyoku.co.jp

出展のご案内



後援
インド政府
Ministry of India



インド食品加工産業省



主催

インド産業連盟



ワールド・フード・インディア2017
食品・飲料及び加工機械技術展

2017年11月3日(金)~11月5日(日)
インド・ニューデリー・VIGYAN BHAWAN

ホスト: インド首相: ナレンドラ・モディ

ジャパンパビリオン ご案内

ジャパンパビリオン・主催

ジャパンパビリオン・共催

紙面も画面も場面も
Nissiyoku 日本食糧新聞社 75th Anniversary

JiIPA NPO法人 日印国際産業振興協会
Japan India Industry Promotion Association (JIIPA)



WORLD FOOD INDIA 2017

インド・モディ首相が主導する 唯一の国際食品・飲料・加工機械技術展示会

開催概要

ワールド・フード・インディア 2017

●食品・飲料及び加工機械技術展

会期：2017年11月3日(金)～11月5日(日)

会場：インド・ニューデリー・VIGYAN BHAWAN



ホスト by
インド首相：
ナレンドラ・モディ

インド食品産業の概要

インドの食品産業は、海外直接投資の主産業です。特にホスピタリティ部門は急成長を遂げており、年平均成長率 14% を記録しています。現時点でも存在するホスピタリティサービスの需要と供給のギャップは、今後インドの経済が成長するとともにさらに開くと考えられています。インド政府は、本年度末までに 200,000 部屋の宿泊施設が必要とされると予測しています。海外投資家はこの機会を大きくとらえており、DIPP によると過去数年の海外直接投資額は 60 億ドル以上に上っています。

- 観光業は GDP の 6.8% で、世界第 3 位の外貨購入国
- ホスピタリティ産業の従業員数は、国内産業の第 2 位
- 多様な地理的要素、魅力的なビーチ、30 の世界遺産、25 のバイオジオグラフィックゾーン
- 特別テーマの 5 つの観光ルート作成に 5 百万ルピーの予算
- グローバルホスピタリティ産業関係者にとって、インドは最も魅力的な地域
- インド政府による 150 カ国への E-ビザ設備の提供(2016年3月)
- 2015年 海外からの旅行客数 775.7 万人
- 世界観光協会は、2025年までに 1530 万人の旅行客数を予測
- インド政府による「インクレディブル・インド」&「Athithi Devo Bhava」訪問者は神様」キャンペーンの強い推進
- インド国内&国際ホテルチェーンによるインド国内拡張プラン
- 産業の急速な成長による、世界規模の施設・設備の需要の巨大化
- インド政府は異文化の連携の確立を目指し、39 のインド洋諸国との歴史的海洋文化の融合と経済関係の復活を提案

インド食品産業の概要

インド食品産業は、世界第 6 位です。インドの食品部門は、付加価値により大きな可能性を秘めた高成長部門であり、2020 年には 4820 億ドルの産業に達すると見込まれています。食品加工産業は、インドの食品産業において 32% を占めており、同時に製造 GDP の 14% に上ります。インド商工会議所は、インドの食品加工産業は今後 10 年間で 330 億ドルに達すると予測しています。

- 2011-2015 年の関連産業のインド輸出： 年平均成長率 23.3% (215 億ドルに達する)
- 2000-2015 年：外国からの投資 62.1 億ドル
- インド食品サービス産業：2018 年までに 780 億ドルに達する見込み
- 1 億 9200 万ヘクタールの農業用地 及び 127 の農業気候特定ゾーン
- 9800 万ルピーの投資額による、42 の目がフードパークの設置
- 世界一の生産物：スパイス、パルス、ミルク、茶葉、カシュー、ナッツ、マンゴ、バナナ、ブドウ
- 世界第 2 位の生産物：小麦、込め、果物 & 野菜、さとうきび、綿、オイルシード
- 食品加工トレーニングのネットワーク及び学術研究、研究施設の構築
- TQM, ISO, HACCP, GMP, GHP 等の、国際食品安全及び品質管理基準への適応
- 大規模農業部門、豊富な家畜数、価格の競争力
- バック済み食品 & 即席食品への消費者の流れ
- 「メイク・イン・インド」政策による産業への支援
- サプライチェーン管理、契約農業、冷蔵保管開発、食品加工 & パッケージング等の機会

ワールド・フード・インディア 2017 食品・飲料及び加工機械技術展

2017年11月3日(金)～11月5日(日)
インド・ニューデリー・VIGYAN BHAWAN



出展対象

1. インドのバイヤー、意思決定者や影響力を持つ専門家との新たなビジネスを求めている企業
2. 最新のインド市場の情報獲得とマーケット開拓・調査を推進したい企業
3. インド市場での存在感を高め、市場シェアの拡大を目指している企業

■食品関連

- 農産品
- 畜産品
- 水産品
- 加工食品
- 菓子・デザート・スナック
- アルコール飲料
- 日本茶・緑茶飲料
- 清涼飲料
- 食品素材・添加物

■食品製造・加工関連

- 食品製造機械
- 調理・厨房機器
- 農水産物加工機械
- 飲料製造装置
- 冷凍・冷蔵機器
- 洗浄・消毒機器
- 食品ロボット・ハンド
- 計量・包装機械
- 分析・検査機器装置
- 物流設備機器
- 環境対策機械

■その他「食」関連

- テーブルウェア
- グラスウェア
- 伝統工芸品
- 農業技術
- 教育・団体
- コンサルティング
- 外食



来場者・バイヤー

- スーパーマーケット、食料雑貨店 & コンビニエンス・ストア
- キャッシュ&キャリア市場と大規模スーパーマーケット
- デパート
- ファーストフードチェーン
- 食品仕出し屋
- 食品メーカー
- 食品サービス組織
- パン店
- 航空会社
- クラブ&リゾート
- ホテル、レストラン、およびバー
- 輸入業者、ディストリビューター、卸売業者と小売店
- 包装と集配センター
- 輸入食品関連政府
- 政府高官
- 食品団体・協会メンバー、他

出展者メリット

- BtoB や GtoG 会合の開催
- Japan Day (セミナーやネットワーキングセッション等)の開催
- 各州政府の食品担当者と交流
- テストマーケティングから生きた反応を読み取る
- 市場調査を実地に体感する
- 知名度を上げる
- 業務提携を広げる
- 商業パートナーとの関係を強化する
- 消費者を引き付ける
- 企業・商品ブランドの浸透